

●開催要項

1. 大会スローガン

彰往考来 ～ 人をつくり 人をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育 ～

2. 研究主題

誰一人として取り残さない社会を目指す社会教育のあり方
～ 子どもたちの健全な成長を支える ～

3. 開催趣旨

徳川光圀公は、明暦3年（1657）に史局を設けて大日本史編纂事業に着手し、水戸藩主就任後の寛文12年（1672）に、この史局を「彰考館」と名付けました。彰考とは晋代の杜預『左氏伝』の序にある「彰往考来」に拠ったものです。「過去をあきらかにして未来を考える」という意味であり、これからの社会教育活動を実践していく上で必要なことと考え、テーマに設定いたしました。

従来より、子どもたちの体験活動不足と、それに伴う諸問題が指摘されておりますが、近年は、それに加えて不登校・引きこもりの増加、貧困・ヤングケアラーなど子どもたちの健全な成長を阻む問題が生じており、その解決が望まれております。

国の動向に目を向けると、令和5年4月には「こどもまんなか社会」を実現するために「こども家庭庁」が発足されるとともに、「こども基本法」が施行されました。私たちには、地域において子どもの健全な成長を支援するために、世代や立場を超えたつながりを生み出し、子どもを取り巻く問題の解決に地域ぐるみで取り組んでいけるような社会教育のあり方について検討し、実践していくことが求められています。

そのような中、光圀公所縁の地である茨城県水戸市に全国各地から社会教育関係者が集まり、子どもたちを取り巻く様々な問題を考察し、解決を目指した実践活動について協議を重ね、より充実した実践を目指していくことは意義のあることと思えます。

4. 主 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
茨城県社会教育委員連絡協議会、茨城県教育委員会、第66回全国社会教育研究大会茨城大会実行委員会

5. 後 援

文部科学省、茨城県、水戸市、水戸市教育委員会、茨城新聞社、
一般社団法人水戸市観光コンベンション協会

6. 期 日

令和6年10月23日（水）～25日（金）

7. 会 場

令和6年10月23日(水) 茨城県水戸生涯学習センター

(水戸市三の丸1丁目5番38号 茨城県三の丸庁舎3階)

10月24日(木) 水戸市民会館(水戸市泉町1丁目7番1号)

10月25日(金) 水戸市民会館(水戸市泉町1丁目7番1号)

8. 参 加 者

都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係職員

社会教育関係者、その他生涯学習・社会教育に関心のある方 等

9. 参 加 費

5,000円(参加資料代等)

10. 日 程

	第1日 10/23(水)	第2日 10/24(木)	第3日 10/25(金)
9:00			受 付
9:30			
10:00		全国社会教育委員連合 総会	分 科 会 (全5分科会)
10:30			
11:00			
11:30		受 付	
12:00			
12:30		歓迎アトラクション	
13:00			
13:30		開会行事	
14:00		全 体 会	
14:30	全国社会教育委員連合 理事会		記念講演
15:00			
15:30			
16:00			シンポジウム
16:30	都道府県・政令指定都市 社教連等事務局 担当者会議		閉会行事
17:00			
17:30			
18:00			
18:30			
19:00		情報交換会	

●大会内容

【10月23日(水)】

- 1 全国社会教育委員連合理事会 (関係者のみ)
- 2 都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会事務局担当者会議 (関係者のみ)

【10月24日(木)】※全体会 12:30～17:00

- 1 全国社会教育委員連合総会 (関係者のみ)
- 2 全体会

(1) 歓迎アトラクション 12:30～13:00

偕楽園記暗唱 等 水戸市立五軒小学校

(2) 開会行事 13:00～14:00

- 主催者あいさつ (全国社会教育委員連合会長)
- 来賓祝辞 (文部科学省、茨城県知事)
- 歓迎のことば (水戸市長)
- 来賓紹介
- 表彰

(3) 記念講演 14:00～15:20

テーマ 「あなたの知らない名字の世界～名字には隠れた日本文化がある～」

名字研究家 高信 幸男 氏

(4) シンポジウム 15:30～16:50

テーマ 「子どもたちの成長を支えるために社会教育は何ができるか」

【コーディネーター】 文教大学教授 金藤ふゆ子 氏

【シンポジスト】 茨城NPOセンター・コモンズ代表理事 横田 能洋 氏

大洗町教育委員会教育長 長谷川 馨 氏

NPO法人たまり場ぽぽ代表理事 早川 愛 氏

(5) 閉会行事 16:50～17:00

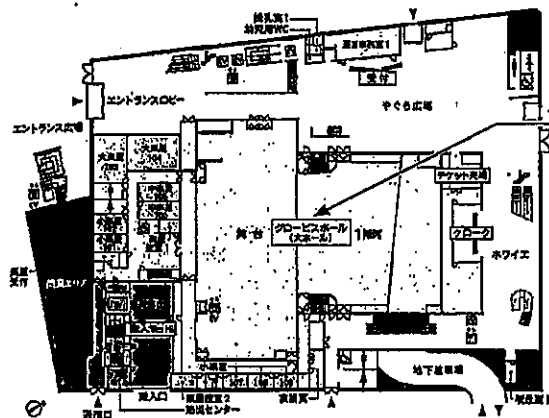
- 主催者あいさつ 第66回全国社会教育研究大会茨城大会実行委員長 稲葉 里子
- 次期全国社会教育研究大会開催県あいさつ 岩手県社会教育連絡協議会長 大橋 清司
- 次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ
..... 神奈川県社会教育委員連絡協議会長 小池 茂子

【10月25日(金)】※分科会 9:30～11:50

- 第1分科会 テーマ 「地域と学校の連携・協働」
- 第2分科会 テーマ 「家庭教育の充実支援」
- 第3分科会 テーマ 「若者の主体的活動の促進」
- 第4分科会 テーマ 「社会的包摂の実現」
- 第5分科会 テーマ 「社会教育委員の役割」

● 会場案内図 (水戸市民会館)

1階(全体会、第1分科会)



【グロービスホール】

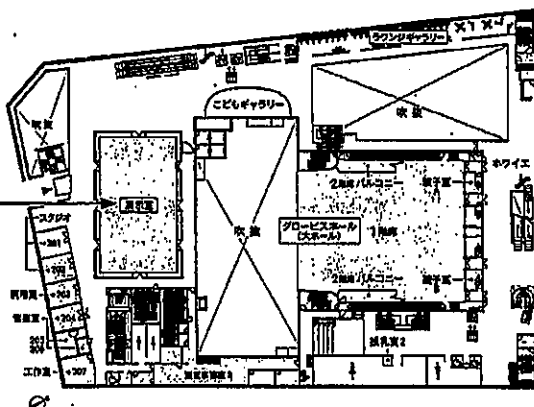
10月24日(木) 全体会会場

10月25日(金) 第1分科会会場

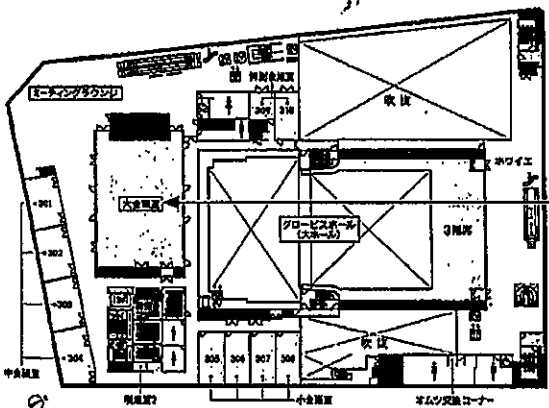
【展示室】

10月25日(金) 第4分科会会場

2階(第4分科会)



南側3階(第3分科会場)

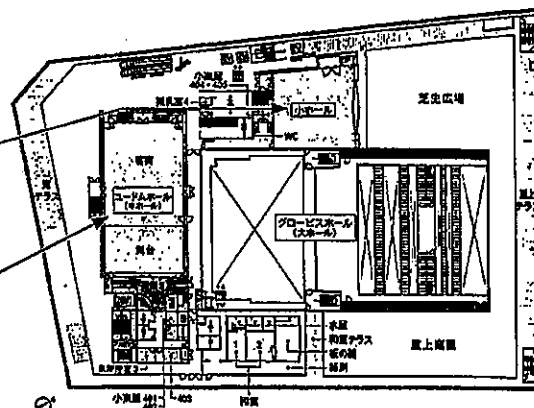


【大会議室】

10月24日(木) 全国社会教育委員連合総会会場

10月25日(金) 第3分科会会場

南側4階(第2・5分科会)



【小ホール】

10月25日(金) 第2分科会会場

【ユードムホール】

10月25日(金) 第5分科会会場

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
地域学習支援課

1 行 事 名	令和6年度青少年健全育成講演会
2 開催年月日等	令和6年11月12日（火） 午後3時～4時
3 会 場	中央公民館 ホール
4 内 容	「勇気を翼に込めて」 ～卒業ソング「旅立ちの日に」誕生とこどもたち～ 講師：高橋 浩美 氏 (埼玉県秩父特別支援学校非常勤講師、「旅立ちの日に」作曲者) <内容> ・小平第五中学校の柴山正雄先生との出会い ・秩父市立影森中学校での、校長、同僚、生徒との出会い ・「旅立ちの日に」、「song is my soul」の弾き語り ・講師の伴奏に合わせて来場者全員で「旅立ちの日に」の合唱 <アンケート感想> ・席の並び方を1列ではなく互い違いにしてほしい。 ・「旅立ちの日に」の大ファンで参加した。本当に感動した。 ・講師の飾らない表現にも好感が持てた。 ・歌、演奏ともに感動した。 ・10年以上前、作詞された小島氏の講演を聞く機会があり、今日ので完結した気がしました。 ・3時ギリギリに前方関係者席に座る人がいるのはどうなのか。
5 主 催	小平市教育委員会
6 参 加 者 数 (前 年 実 績)	66人(33人) ① 小平市青少年対策地区委員会関係者 15人 ② 学校支援・放課後子ども教室関係者 8人 ③ 一般 43人
7 特 記 事 項	本講演会は、青少年対策地区委員会代表者協議会研修と兼ねて行い、また、地域教育及び放課後子ども教室のコーディネーター等の研修としても位置付けて行った。
備 考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
地域学習支援課

1 行事名	令和7年 二十歳の集い
2 開催年月日等	令和7年1月13日（月・祝）午後1時～午後2時30分
3 会場	ルネこだいら 大ホール
4 内容	目的：おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます。 対象者：平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ ・平成22年度より始めた対象者による実行委員会形式を継続。 ・式典後のアトラクションについては、恩師からのビデオメッセージ、抽選会を実施する予定。 ・式典のライブ配信を実施する予定。
5 主催	共催：小平市、小平市教育委員会 企画・運営：二十歳の集い実行委員会
6 参加者数 (前年実績)	令和6年11月26日現在 対象者：2, 196人 令和5年度 対象者：2, 246人 参加者：1, 197人（53.3%） 天候：晴れ
7 特記事項	案内通知を12月上旬に対象者へ郵送するとともに、市報12月5日号、市ホームページにて周知。
備考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
地域学習支援課

1 行 事 名	第21回 小平よさこいスクールダンスフェスティバル in 2025
2 開催年月日等	令和7年2月9日(日) 午後1時30分～午後4時(予定)
3 会 場	ルネこだいら 大ホール
4 内 容	目 的：各学校等において取り組んでいる よさこいやダンスの発表の場を提供し、異世代間の交流を促進するとともに、学校・家庭・地域社会の連携を支援する。 参加校：市立小学校19校(全校) 大学1校(東京学芸大学)
5 主 催	主催：小平市教育委員会 企画・運営：小平よさこいの会 小平よさこい大学生実行委員会(Y会) 後援：社会福祉法人 小平市社会福祉協議会 小平市青少年対策地区委員会代表者協議会 小平市立小学校長会 一般社団法人 小平青年会議所 協賛：小平商工会 グリーンプラザ商店会 一橋学園南口商店会 光が丘通り商店会 仲町共栄会
6 参 加 者 数	出演者：約750人 来場者：約800人
7 特 記 事 項	・地域で組織されている「小平よさこいの会」は、本事業だけでなく、灯りまつりや市民まつりでも多くの参加者を動員するなど、学校と地域の連携が深められている。 ・大学生が「小平よさこい大学生実行委員会(Y会)」として、企画・運営に携わっている。
備 考	

行 事 等 結 果 報 告

社会教育委員の会議

令和6年12月12日

中 央 公 民 館

1 行 事 名	公民館主催イベント（10月、11月）
2 開催年月日等	①「中央公民館サークルフェア」 11月3日（日）、4日（月） ②「小川西町公民館まつり」 10月12日（土）、13日（日） ③「花小金井北公民館まつり」 10月26日（土）、27日（日） ④「小川公民館まつり」 11月2日（土）、3日（日） ⑤「津田公民館まつり」 11月16日（土）、17日（日） ⑥「鈴木公民館まつり」 11月23日（土）、24日（日）
3 会 場	①中央公民館、②小川西町公民館、③花小金井北公民館、④小川公民館、⑤津田公民館、⑥鈴木公民館
4 内 容	①中央公民館サークルフェアについて 中央公民館サークル 37 団体が展示や体験を通してサークル活動のPRを行った。また、公民館主催親子音楽会の開催、小平第一中学校の生徒による吹奏楽演奏など幅広い世代の交流の機会となるよう努めた。 中央公民館サークルフェア 2日間合計 2,726 人参加 ②③④⑤⑥分館まつりについて 公民館活動団体の成果の発表、及び地域のコミュニティづくりの場として舞台発表や展示等を行った。また、音楽会や落語会等の開催、近隣の小・中学校の児童生徒の参加など各館において工夫に努めた。 小川西町公民館まつり 2日間 合計 760 人参加 花小金井北公民館まつり 2日間 合計 301 人参加 小川公民館まつり 2日間 合計 348 人参加 津田公民館まつり 2日間 合計 1,234 人参加 鈴木公民館まつり 2日間 合計 970 人参加 ※速報値
5 主 催	①はサークルフェア実行委員会、②③④⑤⑥は各館のまつり実行委員会が小平市公民館と共催してそれぞれ実施。
6 参 加 者 数	令和元年度 ①の参加者数 1,982 人、②③④⑤⑥の参加者数 5,491 人 令和2年度 中止 令和3年度 中央公民館サークルフェアのみ開催。参加者数 937 人 令和4年度 ①の参加者数 764 人、②③④⑤⑥の参加者数 1,930 人 令和5年度 ①の参加者数 1,868 人、②③④⑤⑥の参加者数 2,820 人
7 特 記 事 項	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
中央公民館

1 行 事 名	公民館主催イベント（1月）
2 開催年月日等	大沼公民館まつり 1月18日（土）、19日（日）
3 会 場	大沼公民館
4 内 容	公民館利用団体の学習活動の成果の発表及び地域のコミュニティづくりの場として、まつり実行委員会との共催により開催する。 大沼公民館利用団体による成果発表として、生け花、水彩画、絵手紙等の作品展示、並びに、楽器演奏、タップダンス、フラダンスなどの舞台発表を行う。 また、近隣の学校からの参加として、小平第七小学校放課後子ども教室、小平第六中学校箏曲部、錦城高等学校吹奏楽部による演奏や演舞等も披露される。 その他、多くの来館者が楽しめる場として、キラキラ人形劇団による人形劇、日本ブラインドサッカー協会の方をお招きしての講演会、お弁当やお菓子の販売なども行われる予定。
5 主 催	大沼公民館まつり実行委員会、大沼公民館
6 特 記 事 項	大沼公民館まつり実施実績 令和元年度 2日間合計参加者数 1,402 人 令和2年度 中止 令和3年度 中止 令和4年度 2日間合計参加者数 322 人 令和5年度 2日間合計参加者数 1,207 人
備考：	

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
中央図書館

1 行 事 名	東京文化財ウィーク 2024 講演会「鷹場と小平」
2 開催年月日等	令和6年10月19日（土）午後1時30分～3時
3 会 場	中央図書館 視聴覚室
4 内 容	江戸時代の多摩地域の鷹狩や鷹場について、絵図や史料を紹介しながら講演を行った。 講 師：蛭田 晶子（ひるた あきこ）氏 来 場 者：50人 ※東京文化財ウィーク：東京都教育庁が主催する企画事業
5 主 催	小平市教育委員会
6 特 記 事 項	
備 考	

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
中央図書館

1 行事名	① 読書ノートを書いてみよう！（読書ノート配布） ② FUNFUN子育て広場（足形ポストカード作成と絵本の読み聞かせ） ③ 秋のおはなし工作会 ④ 「親子で楽しむおえかきワークショップ」 ⑤ 「喜平図書館 あらすじ屋」
2 開催年月日等	① 令和6年10月27日（日）～11月30日（土）【全図書館】 ② 令和6年10月31日（木）【仲町図書館】 ③ 令和6年11月2日（土）【中央図書館】 ④ 令和6年11月4日（月）【津田図書館・喜平図書館共催】 ⑤ 令和6年11月6日（水）～11月24日（日）【喜平図書館】
3 会場	各図書館
4 内容	① 秋の読書週間に合わせ、読書ノートを配布して子どもの読書活動を推進しました。 ② 子育てサークルとの共催で、こどもの足形でポストカードを作り、こどもに絵本の読み聞かせを行いました。地域の子育て世代の交流と図書館サービス利用の促進の機会となりました。参加：計2回実施 子ども10人、大人11人 ③ おはなし会の後に、おはなしにちなんだ工作（木の実のツリー）を親子で作りました。参加：7名 ④ 津田図書館・喜平図書館共催で、小平市在住の作家かじりみなこ氏をお招きしてワークショップを行いました。また作家とともにおえかきの実演などを行いました。参加：こども17人、大人18人 ⑤ 本のあらすじを書いたカードを持ってくる「あらすじ屋」が喜平図書館に来たという設定で、カードをカウンターに持ってくるとその本を借りられるという企画を行いました。
5 主催	小平市教育委員会
6 特記事項	
備考	

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
中央図書館

1 行 事 名	⑥ 「図書館実験室 紙ひこうきを遠くにとばす」 ⑦ 認知症週間特別展示 ⑧ ブックスタート講演会「どの本読む?～絵本の選び方と読み聞かせの魅力～」 ⑨ 「お札の不思議大発見」 ⑩ 障害者週間特別展示～活字による読書が困難な方へ～
2 開催年月日等	⑥ 令和6年11月7日(木)【喜平図書館】 ⑦ 令和6年11月9日(土)～11月28日(木)【全図書館】 ⑧ 令和6年11月10日(日)【中央図書館】 ⑨ 令和6年11月16日(土)【小川西町図書館】 ⑩ 令和6年11月30日(土)～12月18日(水)【全図書館】
3 会 場	各図書館
4 内 容	⑥ 図書館の本で紙ひこうきを作り、閉館後館内で遠くへとばす競争をしました。参加：こども8人 ⑦ 認知症週間に合わせ、全館で関連本の紹介などを行いました。中央図書館では高齢者支援課と共催で、パンフレットなども多数設置して行いました。 ⑧ 読書アドバイザーを講師に招き、講師の研究や経験等を交えて、読み聞かせの必要性や魅力についておはなしいたきました。参加：29名 ⑨ 新札になったこの時期に、国立印刷局の職員の方から、お金でものを買える仕組みやお札の歴史、偽造防止の技術や珍しい世界のお札の紹介など、普段聞けないおはなしを聞きました。参加：こども13人、大人10人 ⑩ 障害者週間に合わせ、全館でデイジー図書や布の絵本などの展示を行いました。中央図書館では、障がい者支援課と共催で、来年行われるデフリンピックの紹介なども行いました。
5 主 催	小平市教育委員会
6 特 記 事 項	
備 考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和6年12月12日
中央図書館

1 行 事 名	① スペシャルおはなし会 ② 第45回「ふるさとの新聞元旦号展」 ③ 児童文学講演会「元書店員で絵本作家が語る、おすすめ絵本、ふれあった作家たち」
2 開催年月日等	① 令和6年12月3日(火)～12月25日(水)【全図書館】 ② 令和7年1月5日(日)～2月3日(月)【中央図書館、上宿図書館、大沼図書館、小川西町図書館】 ③ 令和7年2月9日(日)13:30～15:00【中央図書館】
3 会 場	各図書館
4 内 容	① 日頃行っているおはなし会の拡大版として、大型絵本の読み聞かせや映画の上映等を行い、保護者も一緒に楽しむことができる特別なおはなし会として実施します。対象：4歳～小学生とその保護者。定員及び申込開始日：各図書館で異なります、先着順。市報11月20日号掲載 ② 全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集め、展示します。あわせて、郷土色豊かな地方出版社の出版物の展示を行います。新聞の寄贈依頼は、昨年と同程度の約57社を予定しています。 ③ リブロ池袋本店の最後の店長や日比谷図書文化館図書部門長を務め、自ら絵本作品も発表してきた菊池壮一氏をお招きし、絵本の紹介や作家とのエピソードを語っていただきます。定員80名、会場：中央図書館、市報1月20日号掲載、申し込み：1月21日(火)から中央図書館へ
5 主 催	小平市教育委員会
6 特 記 事 項	
備 考	

令和6年12月5日

社会教育委員各位

地域学習担当部長 安部 幸一郎

大沼図書館の臨時休館及び大沼公民館の一部利用休止について

日頃から、社会教育事業に御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

大沼図書館・公民館では空調機器（ガスヒートポンプエアコン）の交換作業に伴い、大沼図書館は下記の期間を臨時休館といたします。また、大沼公民館は全館の休館はいたしません、部屋ごとに利用を休止する期間が発生いたします。詳細について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 大沼図書館の臨時休館について

(1) 休館期間

令和6年12月12日（木）から12月26日（木）まで

※ 年末年始の休館日と連続するため、開館は令和7年1月5日（日）からとなります。

※ 休館前日の12月11日（水）は準備作業のため、エアコンの御利用ができません。

(2) 休館中の図書の受取と返却

(1) の休館期間中に、Webや電話で予約した本の受け渡しを館内ロビー付近で実施します。（12月13日（金）、19日（木）、20日（金）を除く休館期間の10時から17時まで。）

図書返却用のブックポストは通常どおり御利用いただけます。

2 大沼公民館の一部利用休止について

令和7年1月27日（月）から2月11日（火・祝）までの期間中に、部屋ごとに順次空調機器の交換作業を行います。この期間中、各部屋を2～4日間御利用できません。

※ 部屋ごとの利用休止日の日程は、ホームページや館内ポスター、公共施設予約システムにてお知らせします。

※ ホールと音楽室は、エアコンの交換が完了しており、この期間中もエアコンを含め通常どおり御利用いただけます。

※ この期間中は、ホールと音楽室以外の各部屋ではエアコンの御利用ができないため、ストーブを用意する予定です。

3 利用者への周知

(1) 市報、市ホームページ、館内掲示

(2) 図書館ホームページ（図書館）

(3) 公共施設予約システム（公民館）

問合せ 教育部中央公民館長 季高 一成
電話 042-341-0861
教育部中央図書館長 利光 良平
電話 042-345-1246